

# <英文法超基礎プリント③⑧> Lv.★★☆☆☆ 対象:中2-3~

## ① いろいろな否定文

### ① 部分否定と全体否定

notのあとに (1. )や (2. ), (3. )などがくると、

「4. 」という全体の一部分を否定する部分否定となる。それに対し、全体を否定するものを全体否定という。

I don't always eat out every night. 「いつも毎晩外食しているわけではない」

I didn't like all of the books. 「すべての本が好きだったわけではない」

None of the boxes are empty. 「箱はどれも空でない」←③でやった!

### ② no系 ← 全体否定を表す

③でもやった!  
I have no money now. 「今、全然お金を持っていない」  
No students came to the party. 「どの生徒もパーティーに来なかった」  
I don't have any brothers or sisters. 「私には兄弟も姉妹も人もいない」  
not ~ any = (5. )

I know nothing about it. 「私はそのことについて何も知らない」

No one [Nobody] knows it. 「誰もそれを知らない」

→ nothing 「6. 」や no one, nobody 「7. 」でも否定を表す文をつくることができる。

## ② there構文

(8. )の形で「9. 」を表せる!

→ 文頭のthereは「今から何かがいるよ・あるよ」を言う (10. )を表すサイン!

→ 主語に (11. )や (12. )がつくことがほとんど!

There is an apple on the table. 「机の上にリンゴがある」

There are some balls in the box. 「箱の中に何個かボールがある」

Is there an apple on the table? — Yes, there is.

Are there any balls in the box. — No, there aren't.

### ③ there 構文のポイント

「there is [are] ~」の there は、今から「13.」が  
来るよー、というサインで、特に意味を持たない。

主語には 13 がくるので、聞き手が知っていることを示す語である (14. )、  
(15. )、(16. )などは、普通つかない。

(△) There was the book on your desk. 「その本はあなたの机の上にあった」

(○) The book was on your desk.

### ④ 感嘆文

感嘆文とは「17.

」と驚きや感動を表す文のこと。

「18.」で始めるモノと「19.」で始めるモノの2つの形式があり、文末に「！」をつける!

・ **What a cold day** it is today! 「今日はなんて寒い日なのだろう」  
→ (20. )の形!

名詞の (21. ) や (22. ) のときは「a/an」はつかない。

What nice pictures you have! 「あなたはなんて素敵な写真を持っている  
のでしょう」

What nice weather it is! 「何ていい天気でしょう」

・ **How cold** it is today! 「今日はなんて寒いのでしょうか」  
→ (23. )の形!

**How fast** he runs! 「彼は何て速く走るのでしょうか」

※話し言葉ではよく (24. ) が省略される。

What a beautiful day! 「なんて美しい日だろう」

How nice! 「なんてすてきなんだ」